

# CHALLENGE

## VOL. 7

# ELPAS

42期(H25年度)の決算が出ました。昨年に続き増収増益です。最終の数字はまだわかりませんが去年よりも増収増益は間違いないと思います。増収は新店効果によるものです。(3月7日春日井サンライフ、同20日ニッケ稲沢店)増益は荒利益の向上と償却費の大幅減です。過去10年間の未償却物件を昨年全部落としましたので本年度はほとんどありません。それで増益という訳です。しかし43期はもう始まってしまっていて2ヶ月経っています。今期の展望となりますとなんとといっても4月から始まる消費税8%対応です。私が予想するには3月の駆け込み需要の大幅アップの反動で4月以後大幅な落ち込みが予想されます。アベノミクスとか言っていますが、政治家に台所の事情はわかっていません。前回の橋本内閣時代バブル崩壊後の大不況からようやく脱出かと思った矢先3%から5%へ上がりました。ご存知の通り景況は一変。長い不況デフレの時代へ進んでいきました。また、アベノミクスとか言った今の景況には期待はあっても何も実体はありません。期待感による株高とドル高円安で輸出業者と株屋と金融界が潤っているだけです。生産者側も生産基地が海外へかなりシフトしています。どれだけ効果があるか疑問です。また、法人税減税してその分労働賃金を上げるようになるはずと言っていますが、これもかなり？です。それよりも円安による輸入商品高、原料高による生活用品、電気、ガス等の値上げと増税で台所は火の車です。景況はかなり厳しくなると思います。「暮らしに役立つ」を信条としている私としてはこれは放っておけない大問題です。特にライン商品(980円、1980円、2980円、3980円、9800円といった次のケタに届かない価格ライン)の対策には頭の痛いところでこれをどうクリアするか思案のしどころです。8%の消費税はなんとかやりくりしても、次に10%消費税が待ち受けています。今の5%の倍になる訳でこれはもうやりくり出来ません。大手のスーパーや量販店も非常に困惑しています。実際現場に立って実感としてはお客さんにわかり易い内税の方がいいと思いますが、ライン商品を考えてと外税にせざるを得ないと思っています。どちらにしても消費税問題はお客さん消費者になじむまで時間がかかると思います。

H25年10月21日 堀田忠彦

いよいよ中期経営計画最終年の43期に突入しました。会社の現状分析、ビジョンの確立。その上で最終的に100店舗を目指していくんだと深夜に及ぶ議論をおこなったのが3年前。当時おぼろげな感じで清須商工会会議室で経営計画を発表しました。当時リーダーになる、社長になるという覚悟や自覚がはっきりあったかという正直まさにおぼろげな感じで、はっきりと100店舗が目映っていたかというところも明確なものは半分くらいだったでしょうか？そのようななかで改装、閉店、新店と重ねていき、毎月ミーティングで確認しながら、去年は社員教育にふみこんだことで43期を迎えた現在の心境としては、半分だったものが90%くらいになってきたように思います。残り10%は何かという私の経営者としての質と経験だと思っています。経営者としては何といっても(あえて言いますと)オヤジとオフクロががんばっている現在はまだまだ本当の経験は皆無です。これは本当になってみないと経験できないものだと思っています。さて、90%の自信をもてたHS100最終年。やはり最大の課題は社員教育。ヒトの部分だろうと思っています。店数を増やしていくうえでのマネジャー、店長が必要になっていきますし、経営計画でも話しましたがディストリビューターを新設していったり、通販をやっていくとうともしています。また子供ヘップのバイヤーの後継者。大変頼もしい仕事をしてくださっている木村さんの後継となる紳士のバイヤー 婦人のバイヤー。このあたりは現実問題として考えていかなければならない事案です。現在頑張ってくれている若手のみんなからこういったポストに引き上げたときその人がいたポストにだれがつくのか？

こう考えていくとそれほどのんびりしてられる状況ではありません。現在現場で頑張っている20代前半のみんなが今からドンドンレベルをあげて上に突き上げていってちょうどいいくらいです。一人も置いてきぼりなくレベルアップしていくことが100店舗に向けての近道なのです。はっきり言いましょ。やる気さえあればどれだけでも上にあがっていけるのです。派閥もしがらみ学歴もいりません。やる気だけです。門はあけてあります。また、我社には転職をされて結構高齢になっていらっしやるかたもいます。また、高齢を引け目に感じているようにみうけられるかたもいます。私の持論としてトシをとっているから頭が固いとは思っていませんし、若いというだけで柔軟だとも思っていません。若くても自分の考えに固執している人は置いていかれるし、トシをとっていても常に探究心旺盛で分からないことは素直に聞こうとする姿勢のかたは自分の壁を破っていけると思います。プライドという腹のたしにならないものはゴミ箱に捨ててチャレンジしてみようではありませんか。やはりヤル気だけで十分なのです。老若男女に門は開いています。